

# Canon

# オートボーイ3

# オートボーイ3

## クォーツデート



日本株式会社

使用説明書

このたびはキャノン製品をお買い上げいただきありがとうございます。この使用説明書は、オートボーイ3クォーツデートとオートボーイ3の共用になっています。ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

- 説明図はオートボーイ3クォーツデートを使用しています。
- オートデート機構の各部名称・使用方法はP.29以降に書いてあります。

## 特長

キャノンオートボーイ3クォーツデートおよびオートボーイ3は、使い易さを追求したハイ感覚のスーパーコンパクトカメラです。

### 1. あらゆる操作の完全自動化

フィルムの自動空送り付き装てん・巻き上げ・巻き戻し・DXコード方式によるフィルム感度セットなど、すべての操作が自動化され、また暗いところではストロボが自動発光します。

### 2. 近接でオートフォーカス撮影可能

55cmまで近づいても、オートフォーカスで手軽に美しい写真が撮れます。

### 3. 自動日中ストロボ撮影

室内窓際の人物撮影などのときは、ストロボが自動発光しますのできれいな写真が撮れます。

### 4. ハイパワーのリチウム電池採用

標準的な使い方で、約5年間電池の交換が不要です。また、低温時に強く約1.2秒のストロボクイックチャージも可能になりました。

### 5. 使い易さ満点のデザイン

手にピッタリなじむグリップとコンパクトなデザイン、液晶による大型フィルムカウンターにより、操作性が向上しました。

②セルフタイマーボタン

①シャッターボタン

③セルフタイマー表示

④ファインダー窓

⑤ストロボ発光部

⑬ストラップ  
取り付け部

⑫電池蓋ビス

⑪電池蓋

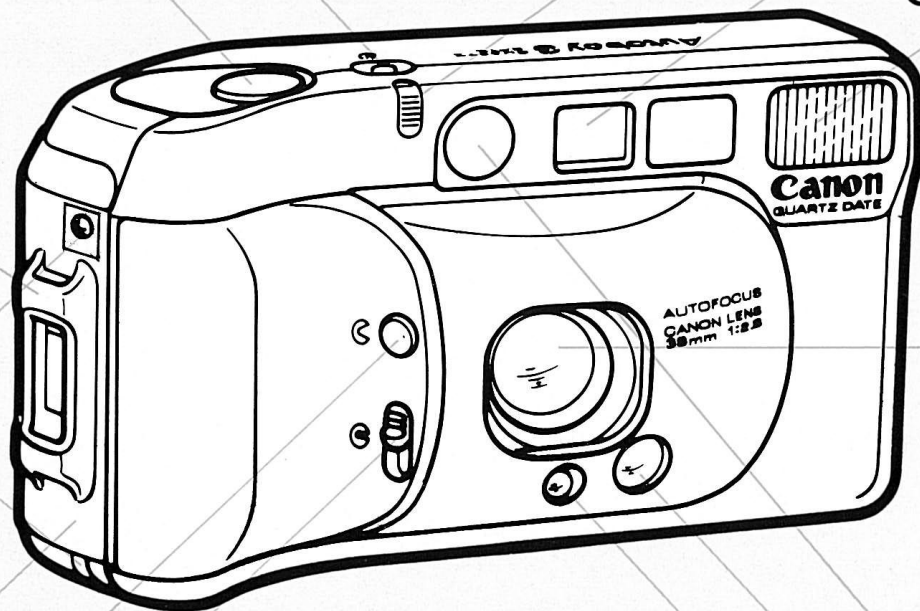
⑩レンズカバー開ボタン

⑨レンズカバー閉じレバー

⑥レンズ

⑦測距窓

⑧測光窓



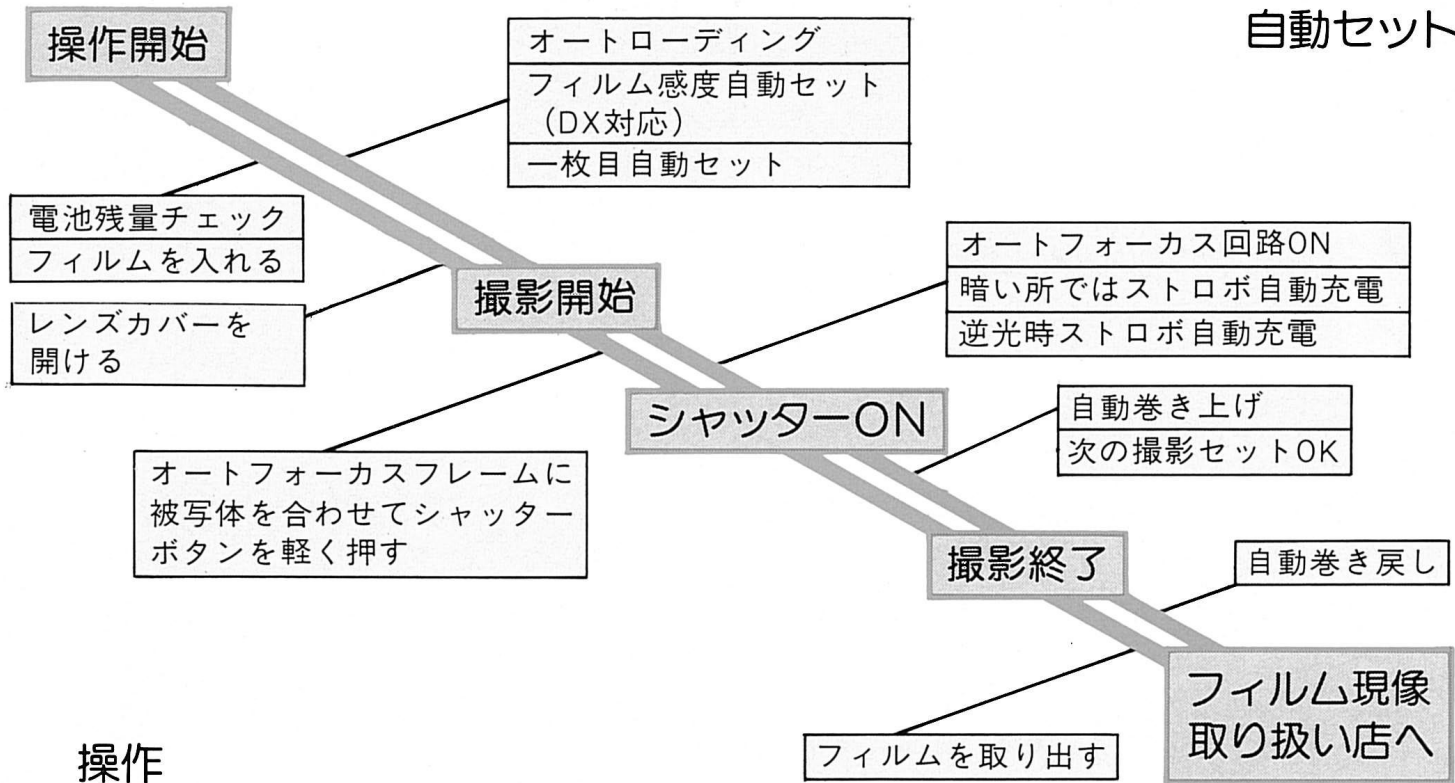
# 目次

特長	2	<input type="checkbox"/> セルフタイマー撮影	24
各部名称	3, 46	5. フィルムを取り出します	27
操作手順	5	6. フィルムの途中巻き戻し	28
ストラップの取り付け方	6	オートデート機構について	29
ソフトケースの利用	6	1. 写し込みデータの選択	32
1. 電池の残量を確認します	7	2. 日付けの修正	33
2. フィルムを入れます	8	3. 写し込みについて	34
3. レンズカバーを開けます	11	4. フィルム装てん日の確認	35
4. 撮影です	12	5. 電池・液晶について	36
<input type="checkbox"/> フォーカスロック撮影	15	電池パックの交換	37
<input type="checkbox"/> 自動ストロボ撮影	18	操作中にこのようなことが起きたら	40
<input type="checkbox"/> 自動日中ストロボ撮影	20	取り扱い上の注意	41
<input type="checkbox"/> ストロボ解除撮影	21	アフターサービスについて	42
<input type="checkbox"/> 近接撮影	23	主要性能一覧	43



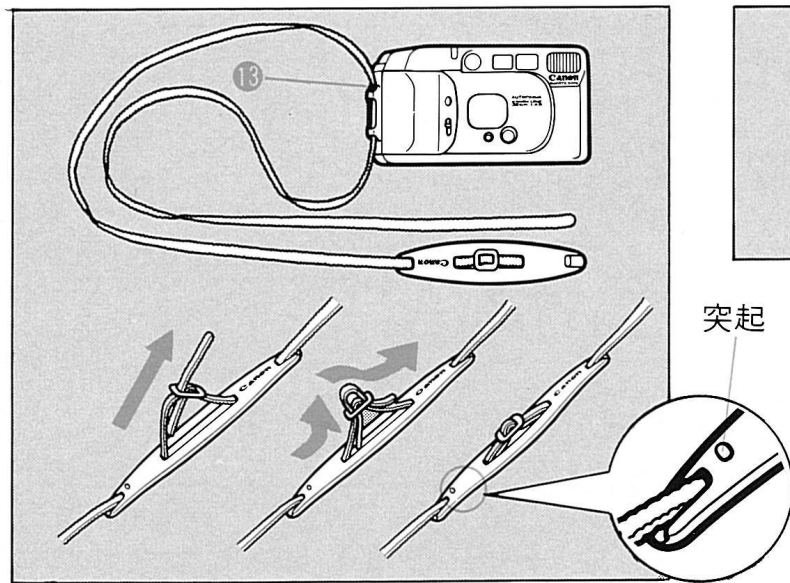
この使用説明書は図のように開いてご覧ください。

# 操作手順



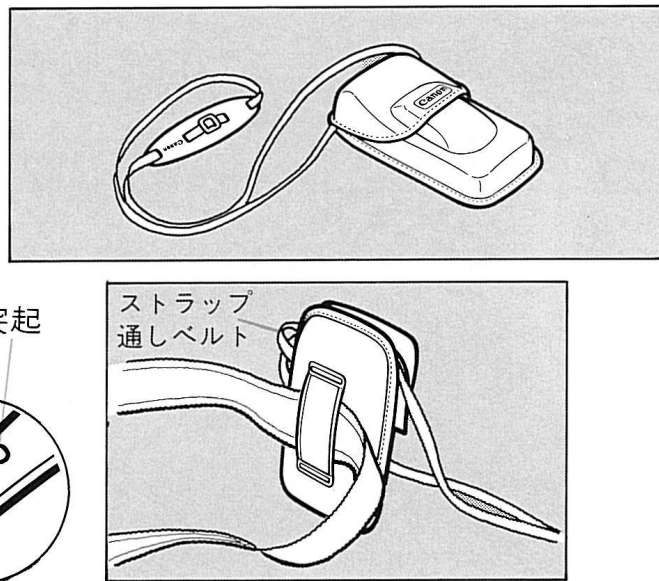
操作

## ストラップの取り付け



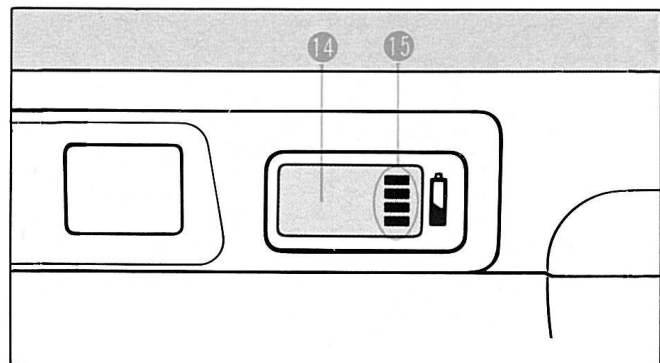
ストラップは図のように、ストラップ取り付け部⑬に通して取り付けます。  
肩当てゴム部の突起は、フィルム途中巻き戻しボタン⑱やオートデート機構の数値修正ボタンを押すときに利用してください。

## ソフトケースの利用



ケースは図のようにベルトに通してもお使いいただけます。なお、ストラップ通しベルトを利用すれば、ケースの置き忘れ、紛失などを防げます。

# 1. 電池の残量を確認します

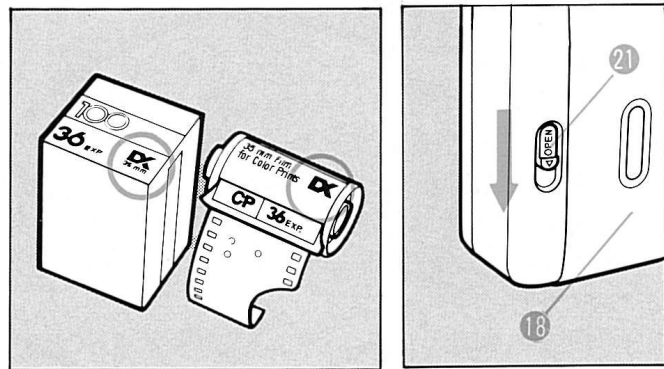


このカメラは専用のリチウム電池パック\* (2 CR5 6V 1個) が組み込まれています。フィルムカウンター⑭の中の電池残量表示⑮を確認してください。バーが2本以上表示されていれば撮影OKです。

※リチウム電池パックとは、長寿命・高性能の点から採用した電池です。

- ◆新品のリチウム電池パックの場合、バーが4本表示され、電池の消耗によって表示が1本ずつ消えていきます。
- ◆新品のリチウム電池パックで、24枚撮りフィルムを1年間に10本撮影した場合、約5年間電池交換の必要がありません。(当社試験条件による)
- ◆新品のリチウム電池パックと交換するとき以外は、絶対に電池パックをカメラから取り外さないでください。
- ◆電池残量表示のバーが1本しか表示されないときは、「電池パックの交換」の項 (p.37) にしたがって、電池パックを交換してください。

## 2. フィルムを入れます

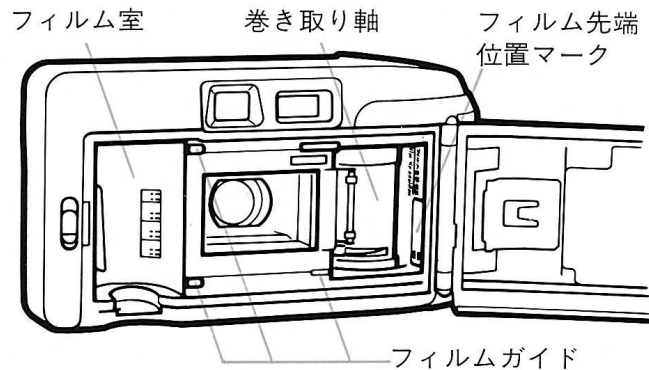


このカメラはフィルムが正しくセットされていないとシャッターが切れません。

使用フィルムは.... ?

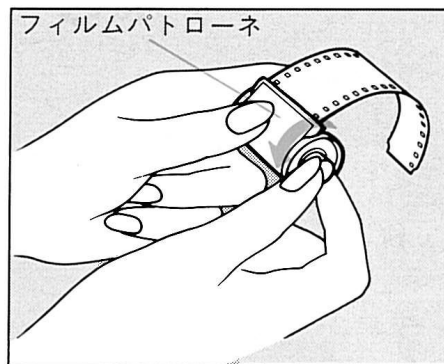
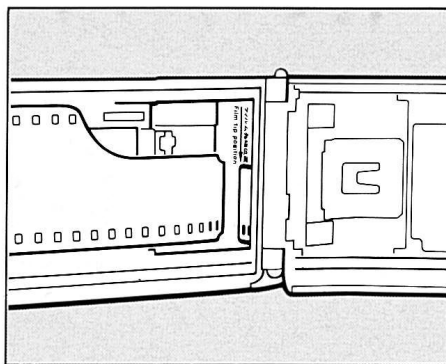
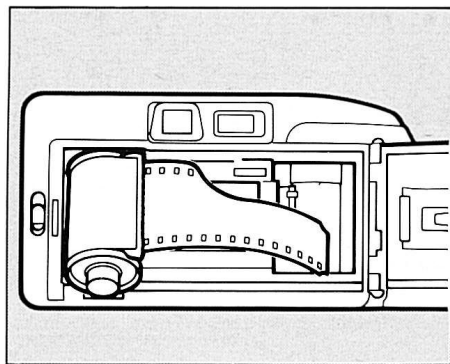
DXマークの付いたフィルムをお使いください。DXマークの付いたフィルムを使用すると、カメラが自動的にフィルム感度\*を読み取ってセットします。

\*フィルム感度とは、フィルムが光に感じる度合を数値で示したものです。数値が大きいほど度合が高くなります。

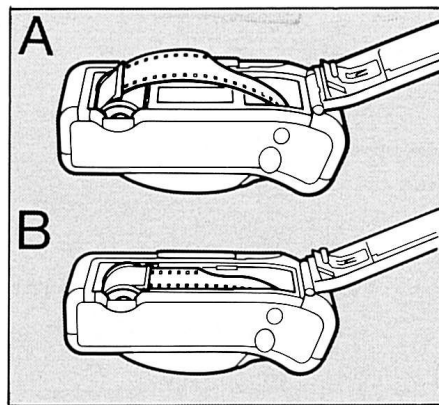


- ◆フィルム感度ISO50～1600に自動的にセットされます。
  - ◆DXマークのないフィルムは、カメラが自動的にISO100にセットしますので、ISO100のフィルムをご使用ください。
  - ◆リバーサルフィルム（スライドフィルム）はISO50, 100, 200, 400のものを使用してください。
- 1) 裏蓋開放ノブ②1を矢印方向に押し下げて、裏蓋①8を開けます。



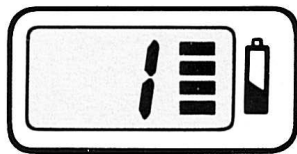
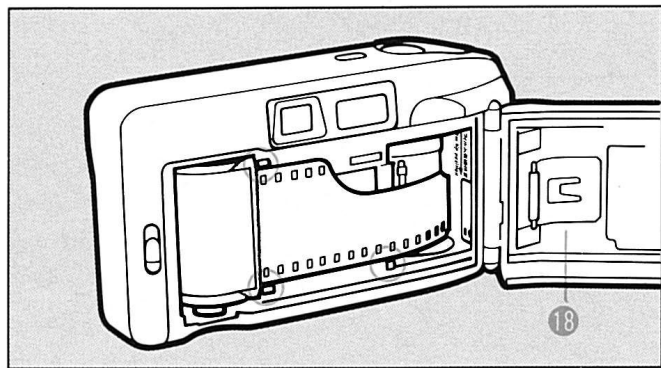


- 2) フィルムを図のような向きにして入れます。
  - 3) フィルム先端がフィルム先端位置マーク（オレンジ色）に合うように引き出します。
- ◆ フィルムの引き出し部分が長いときはパトローネに少し巻き戻して、フィルム先端位置マークに合うように長さを調節してください。
  - ◆ フィルムはB図のように入れてください。

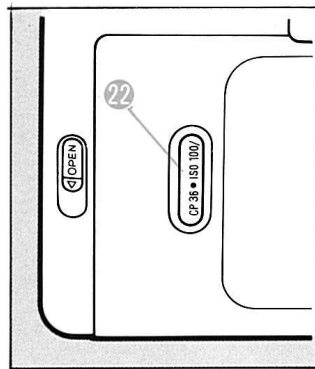


×

OK,

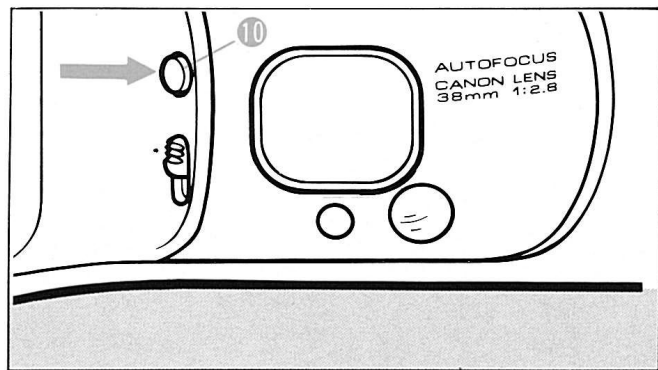


- 4) フィルムがフィルムガイドの間にあることを確認して裏蓋**18**を閉じます。裏蓋を閉じるとカメラが自動的にフィルムを送りしてフィルムカウンターに“1”が約2秒間表示されます。これで撮影準備完了です。

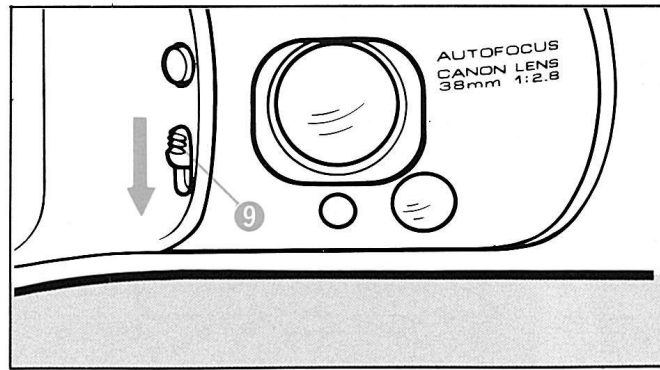


- ◆ フィルムカウンターに“0”が点滅したときは、フィルムが正しく送られていません(“0”と一緒に電池残量表示**15**のバーも点滅します)。このときシャッターボタンを押してもシャッターは切れませんので、裏蓋を開けもう一度フィルムを正しく入れ直してください。
- ◆ フィルム在否確認窓**22**でフィルムが入っているかどうかを確認できます。

### 3. レンズカバーを開けます

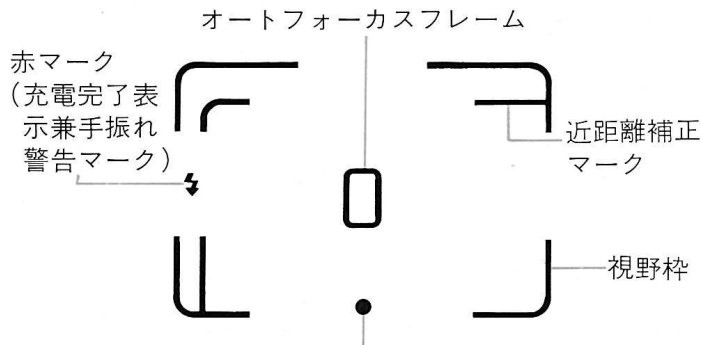


レンズカバー開ボタン⑩を押して開けます。閉じるときは、レンズカバー閉じレバー⑨を矢印方向へ押し下げてください。



- ◆ レンズカバーが閉じているときは、フィルムカウンター⑭は表示されず、シャッターボタン①を押してもシャッターは切れません。
- ◆ カメラを使用しないときは、レンズカバーを閉じておいてください。不用意にシャッターが切れるのを防ぎます。

## 4. 撮影です



緑ランプ(測距完了兼近距離警告ランプ)

このカメラはピント合わせのいらないオートフォーカス\*カメラです。撮りたいものにオートフォーカスフレームを合わせるだけで気軽にきれいな写真を撮ることができます。

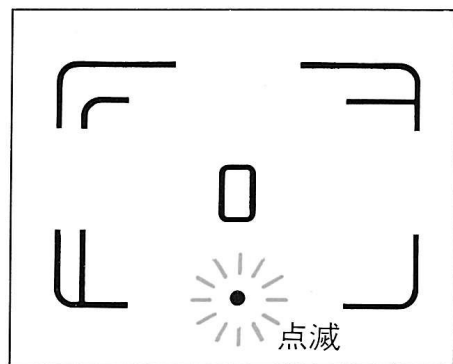
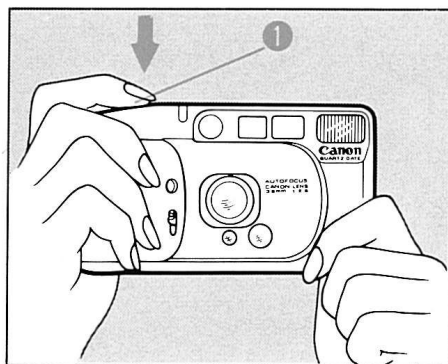
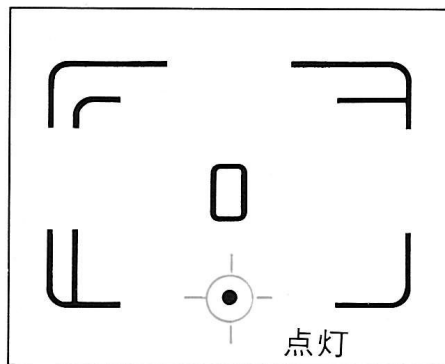
\*オートフォーカスとは、カメラが自動的にピント合わせを行うことです。

- 1) ファインダー<sup>㊦</sup>をのぞいて、ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせます。視野枠の内側にあるものが写ります。



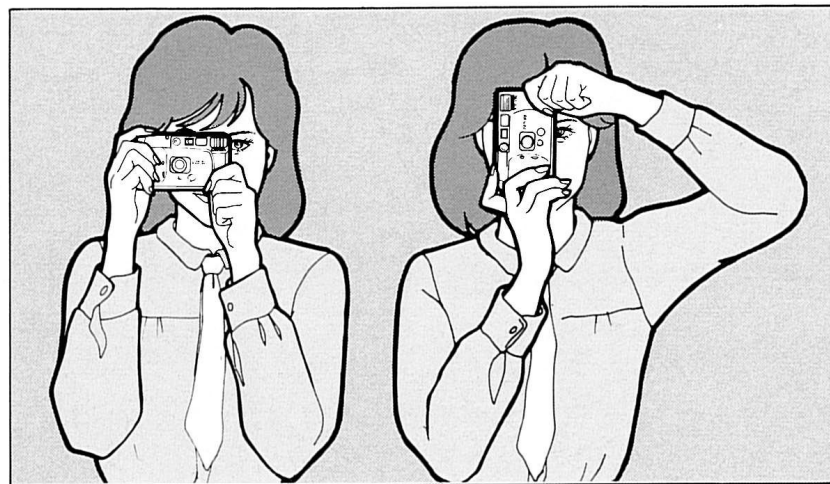
◆撮影できる距離の範囲は55cm～∞(無限遠)です。55cm以上離れて撮影してください。





- 2) シャッターボタン①を軽く押してファインダー内下にピント合わせが完了したことを知らせる緑ランプの点灯を確認します。
- 3) 緑ランプがチカチカ点滅しなければシャッターボタンをさらに深く押して撮影します。

◆ 緑ランプがチカチカ点滅したときは撮りたいものが近すぎます(55cm未満)。シャッターボタンから指を離し、撮りたいものから離れて、もう一度シャッターボタンを軽く押して緑ランプが点滅しない距離で撮影してください。



- ◆カメラを構えるときは、一方のひじを軽く体につけます。
- ◆撮影のときレンズ⑥、測距窓⑦、測光窓⑧、ストロボ発光部⑤に髪や指がかからないようにしてください。また、手振れ写真を防ぐために、シャッターボタン①は静かに押してください。

- 4) 撮影後、シャッターボタンから指を離すと、カメラが自動的にフィルムを次のコマまで巻き上げます。同時にフィルムカウンター⑭の数字も進みます。

# フォーカスロック撮影

〈撮りたいものが画面の中央にないとき〉



写真の構図によっては、撮りたいものが画面の中央にくるとは限りません。ピントを合わせたものが、オートフォーカスフレームから外れたり、完全におおえないときは、右下の写真のようにピンボケになってしまうこと

があります。そのようなときは次のフォーカスロック撮影をしてください。



- 1) ファインダー<sup>23</sup>をのぞき写したい構図を決めます。
  - 2) のぞきながらカメラを少し動かしてピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせます。
  - 3) シャッターボタン<sup>1</sup>を軽く押して、緑ランプの点灯を確認します。
  - 4) シャッターボタンを軽く押したまま（緑ランプ点灯の状態）写したい構図に戻して、シャッターボタンを深く押します。このとき撮影距離は変えないでください。
- ◆一旦、シャッターボタンから指を離すと、緑ランプが消えフォーカスロックは解除されますのでご注意ください。



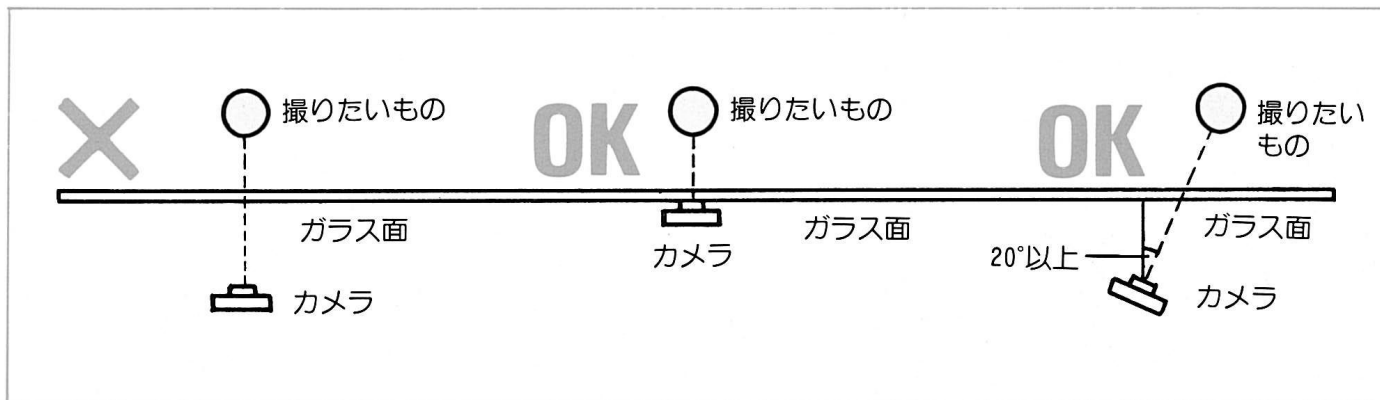


◆写すものによって、例外的にオートフォーカス機構が正しく働かないことがあります。

〈例〉：(1)光沢のあるもの（車のボディなど）  
(2)光を反射しにくいもの（黒い髪など）  
(3)ガラス越しのもの（ショーウィンドーなど）

●光沢のあるもの、反射しにくいものを撮るときは、写したいものとほぼ等しい距離にある別のものを利用して、フォーカスロック撮影をしてください。

●ガラス越しのものを撮るときは、ガラスに密着して撮るか、ガラスに対し斜めに撮影してください。（下図参照）



# 自動ストロボ撮影

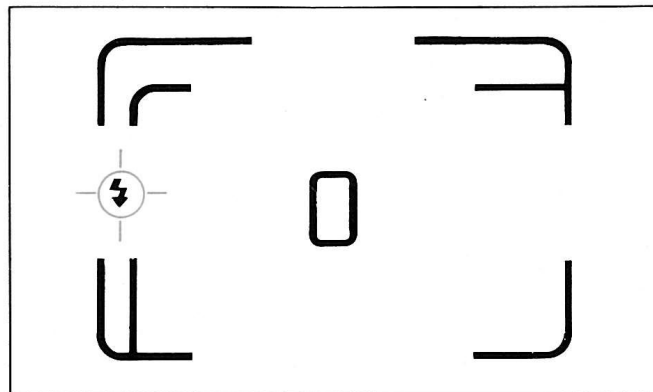
〈室内など暗いところで撮るとき〉




室内などで明るさが足りないときは、自動的にストロボ撮影に切り換わりますので、大事なシャッターチャンスをおがしません。結婚披露宴会場など暗いところでもきれいな写真が撮れます。




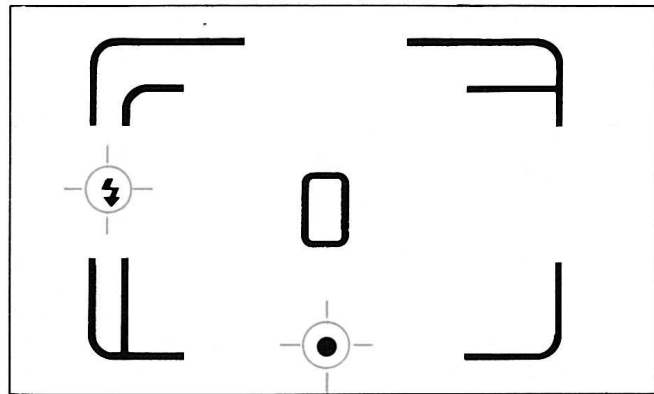
- 1) シャッターボタン①を軽く押すとファインダー内左側に充電開始を知らせる赤マークが一瞬点灯し、約1.2秒後に緑ランプと赤マーク⚡が一緒に点灯します。これが充電完了の合図です。



約  
1.2  
秒

2) 緑ランプと赤マーク  が一緒に点灯したら、シャッターボタンをさらに深く押し撮影します。

◆赤マーク  が再び点灯するまで、シャッターは切れません。



◆自動ストロボ撮影の距離範囲（ネガカラーフィルム使用時）

ISO 100	0.55～4.5m
ISO 200	0.55～6m
ISO 400	0.55～8m
ISO 1000	0.7～12m
ISO 1600	1.0～15m


# 自動日中ストロボ撮影

〈人物の顔などが暗くなる時〉



このカメラは、明るい背景に対して撮りたいものが暗い場合（逆光時）に、自動的にストロボ撮影に切り換わります。室内窓際の人物撮影などで撮りたい人の顔が暗くなってしまふことはありません。

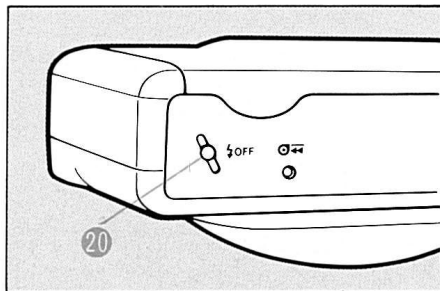


- ◆操作方法は自動ストロボ撮影と同じです。
- ◆逆光を測れる距離の範囲は0.55m～約2.5mまでです。
- ◆逆光と判断してからストロボの充電が完了しファインダー内に赤マーク  が点灯するまではシャッターは切れません。

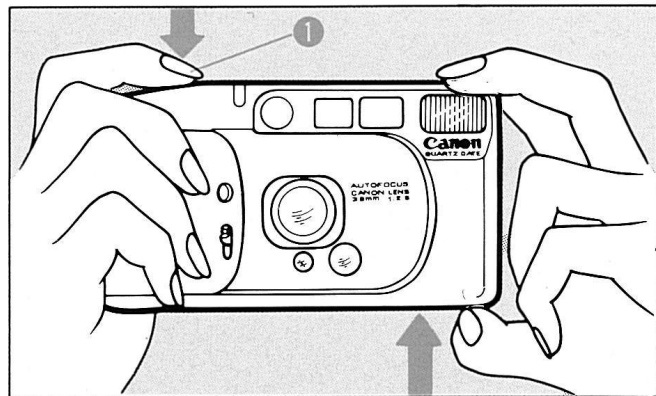
# ストロボ解除撮影

〈ストロボ発光なしで写りたいとき〉


このカメラは暗いところや逆光のときは自動的にストロボ撮影に切り換わりますが、ストロボの発光なしで夕焼けや夜景などを自然に撮りたいときや、舞台撮影などストロボ撮影をしてはいけないときは、次の操作で自動ストロボを解除して撮影できます。

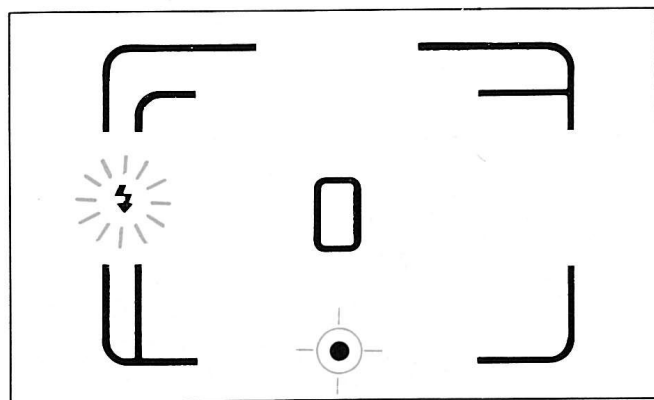


- 1) ボディ底部にあるストロボ解除ボタン②⑩を押しながらファインダーをのぞきシャッターボタン①を軽く押して緑ランプの点灯を確認します。



- 2) 緑ランプが点滅しなければ、シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。
- ◆必ずシャッターボタンを押す前にストロボ解除ボタンを押してください。
  - ◆一回の操作で1コマのみストロボの発光が解除されますので、連続して解除したいときはストロボ解除ボタンを押し続けてください。

- ◆ストロボ解除撮影でファインダー内に赤マークが点滅したときは、手振れに注意して撮影してください。



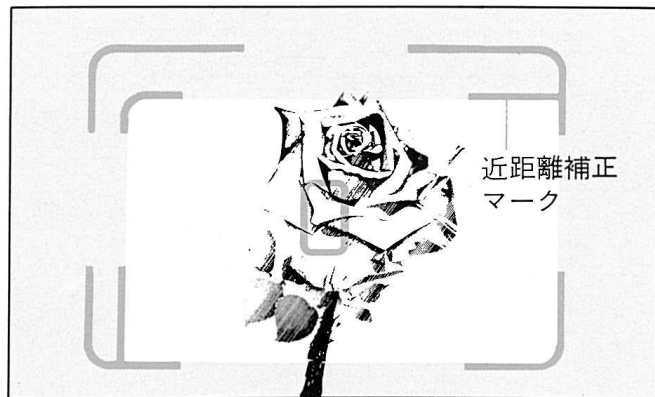
## 近接撮影

〈近づいて大きく写したいとき〉



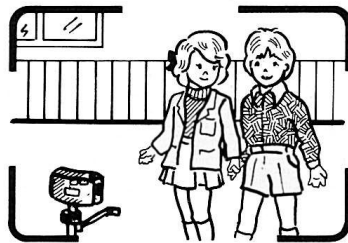
鉢植えや釣り上げた魚などを大きく写す近接撮影では、55cmまで近づいてオートフォーカスのできるきれいな写真を撮ることができます。

- ◆0.55m～1mまでの近接撮影では、近距離補正マーク内に撮りたいものを入れてください。そのとき撮りたいものでオートフォーカスフレームを完全におおってください。
- ◆撮りたいものがオートフォーカスフレームより小さいときは、ほぼ等しい距離の別のものでもフォーカスロックしてから、撮りたい構図に戻してシャッターボタン①を押してください。



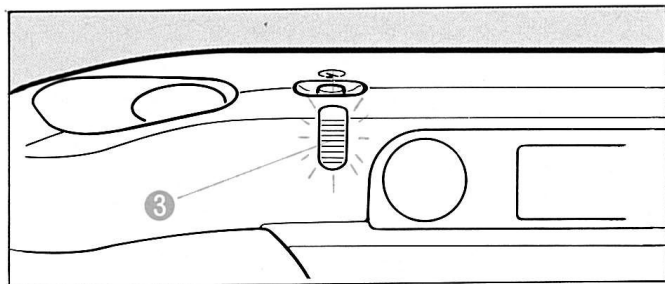
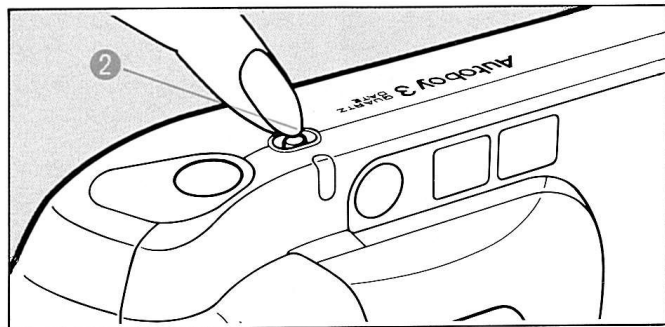
# セルフタイマー撮影

〈撮影者自身も写真に写りたいとき〉



記念撮影で自分も写真に写りたいときはセルフタイマーをご利用ください。

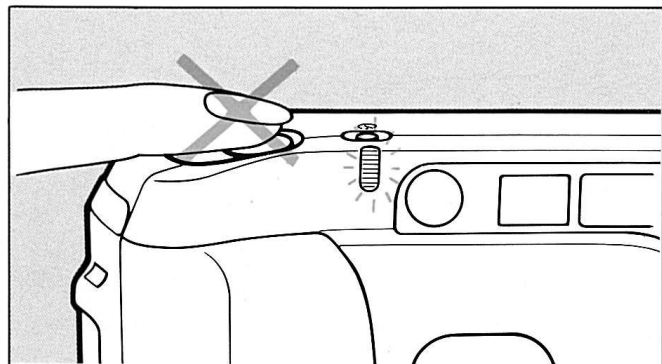
- 1) ファインダー②をのぞいて、オートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせ、セルフタイマーボタン②を押し、緑ランプの点灯を確認します。
- 2) セルフタイマーボタンを押すと同時にセルフタイマー表示(赤)③が点滅を始め、約10秒後に撮影がおこなわれます。シャッターが切れる2秒前に点滅が速くなります。





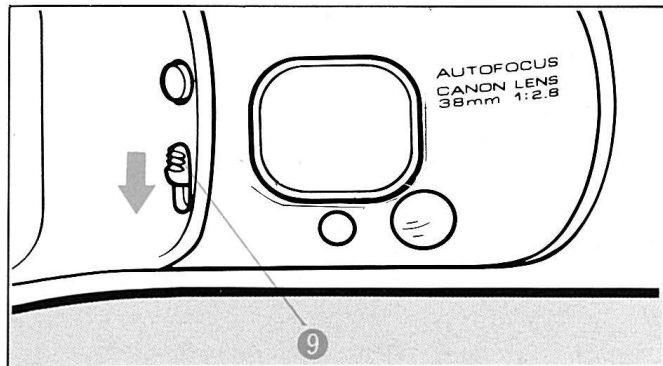
3) 撮影がおこなわれたことは、セルフタイマー表示（赤）の点滅が消えたこととフィルムの巻き上げ音で確認できます。

◆セルフタイマー撮影ではシャッターボタン①は押しません。もしセルフタイマー作動中にシャッターボタンを押した場合は、シャッターが切れますのでご注意ください。

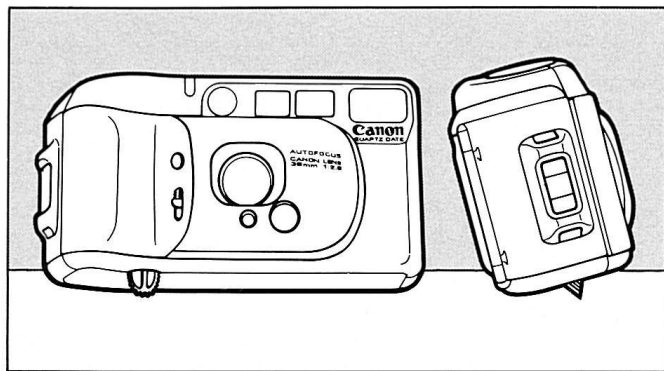
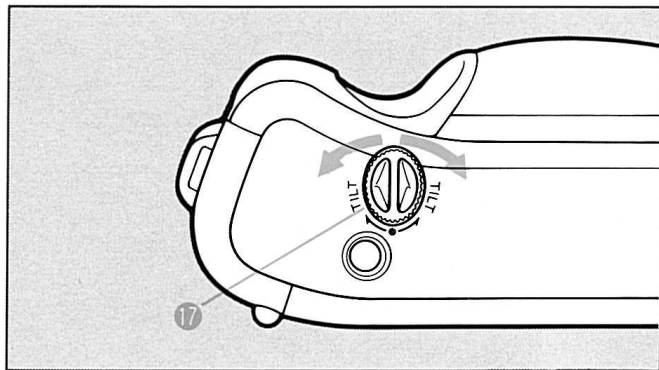


◆セルフタイマーの作動中に解除したいときは、レンズカバー閉じレバー⑨を押し下げてレンズカバーを閉じてください。

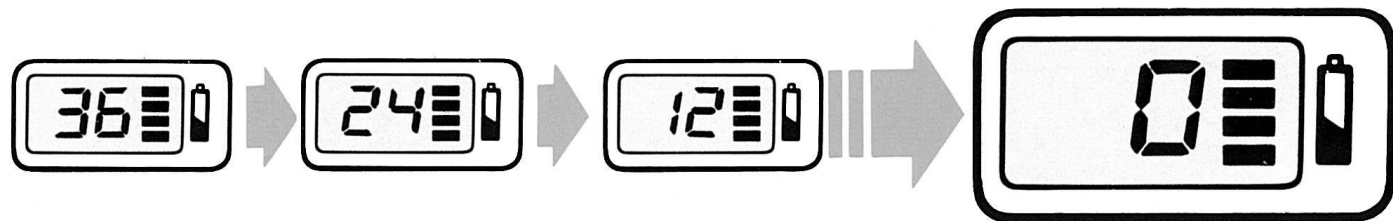
◆ひとりでセルフタイマー撮影するときは、自分が立ちたい場所とほぼ等しい距離にあるものにオートフォーカスフレームを合わせてセルフタイマーボタンを押してから写したい構図に戻し、予定の場所に立ってください。



- ◆カメラを机の上などの平らなところに置いてセルフタイマー撮影をする場合は、ボディ底部のティルトつまみ⑰を図のように利用すると便利です。



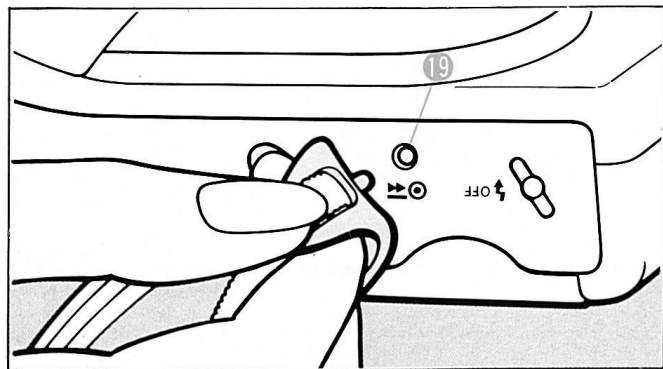
## 5. フィルムを取り出します



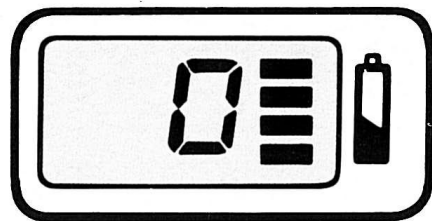
このカメラはフィルムを最後まで撮り終わると数秒後に自動的に巻き戻しを始めますので、フィルムの巻き戻し操作は不要です。巻き戻し中は、フィルムカウンター<sup>⑭</sup>が逆算します。フィルムを全部巻き終わるとカメラは自動停止します。

- 1) フィルムカウンターが“0”に戻っていることを確認します。
  - 2) 裏蓋<sup>⑮</sup>を開いてフィルムパトローネを取り出します。
- ◆ フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがありますのでご注意ください。

## 6. フィルムの途中巻き戻し



フィルムの規定枚数を撮り終える前にフィルムを取り出したいときは、ボディ底部のフィルム途中巻き戻しボタン①⑨を押すだけでフィルムの途中巻き戻しができます。



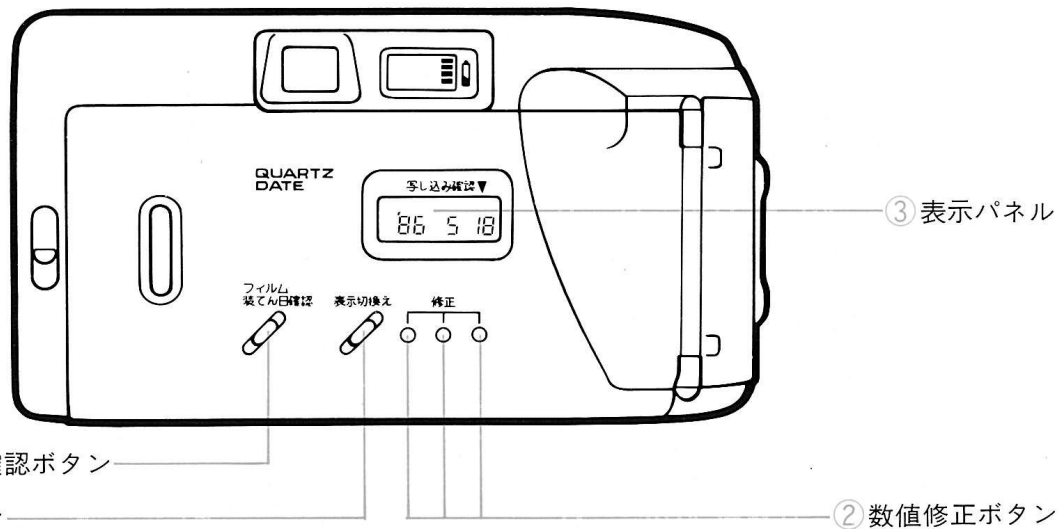
- ◆自動巻き戻しと同様にフィルムカウンター①④が“0”まで戻っていることを確認してから裏蓋①⑧を開け、フィルムを取り出してください。
- ◆フィルム途中巻き戻しボタンは、ストラップ肩当てゴム部の突起を利用して押してください。

## オートデート機構について

ここから日付け写し込み機構の説明です。日付け写し込み機構（クォーツデート機構）をもたないオートボーイ3をお買い上げの方は「電池パックの交換」の項（p.37）へおすすめください。

オートボーイ3クォーツデートは、撮影した日付けや時間を写真に写し込む機構をもったカメラです。ご家族の記念やお仕事の記録などにご利用ください。

# 各部名称

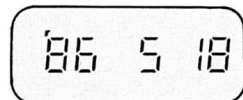


1. 2029年12月31日までの日付けを記憶しているオートカレンダーが組み込まれていますので、撮影のたびに日付けをセットする必要はありません。

2. 一度時間をセットすれば、そのまま正確な時刻を写し込むことができます。  
3. 今まででは忘れてしまいがちだったカメラにフィルムを入れた日を確認することができます。

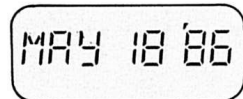
# 表示例

● <年・月・日> 表示



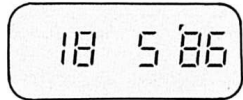
(1986年5月18日)

● <月・日・年> 表示



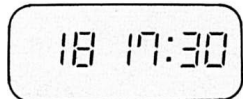
(1986年5月18日)

● <日・月・年> 表示



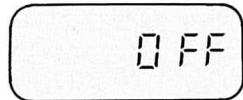
(1986年5月18日)

● <日・時・分> 表示



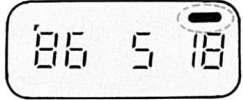
(18日17時30分)

● <OFF> 表示



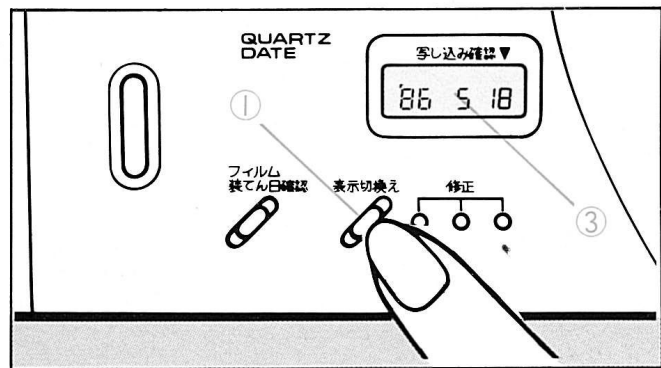
(写し込みはおこなわれません)

● 写し込み確認表示



(写し込み確認マークが撮影  
後約2秒間点灯します)

# 1. 写し込みデータの選択



表示切り換えボタン①を押すたびに表示パネル③上の表示が次のようにかわります。

〈年・月・日〉表示 ←

↓  
〈月（英文字）・日・年〉表示

↓  
〈日・月・年〉表示

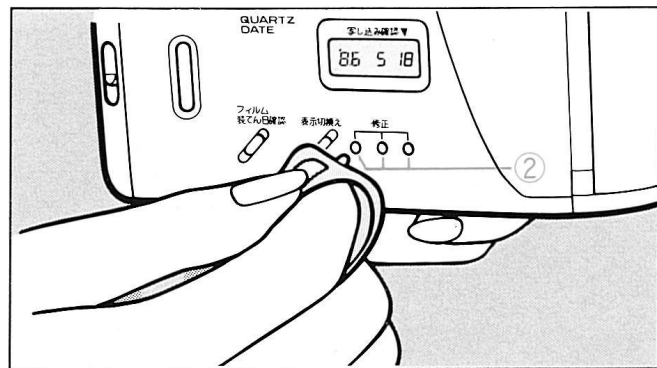
↓  
〈日・時・分〉表示

↓  
〈OFF〉表示

表示されたデータが写し込まれますので、希望するデータを選択してください。



## 2. 日付けの修正



数値修正ボタン②を押して修正します。

左側の数値修正ボタンを押すと表示パネル③上の左側のデータだけが修正されます。真ん中の数値修正ボタンを押すと真ん中のデータ、右側の数値修正ボタンを押すと右側のデータだけが同様に修正されます。例えば、〈年・月・日〉表示を選択している場合、左側の数値修正ボタンを押すと“年”が、真ん中の数値修正ボタンを押すと“月”が、右側の数値修正ボタンを押すと“日”が修正されます。

- ◆どの表示を選択している場合でも修正の方法は同じです。
- ◆数値修正ボタンは不用意に押されないようになっていますので、修正するときはストラップ肩当てゴム部の突起を利用して押してください。

### 3. 写し込みについて

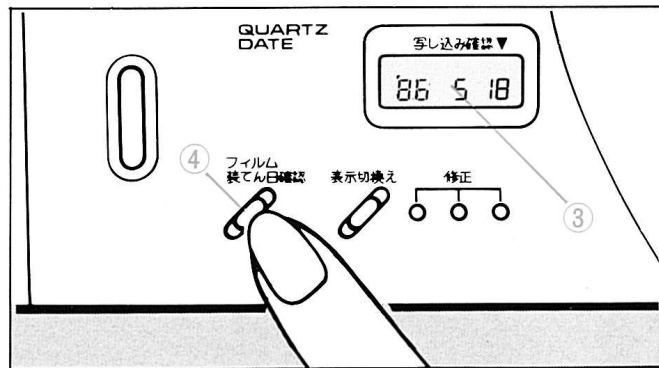
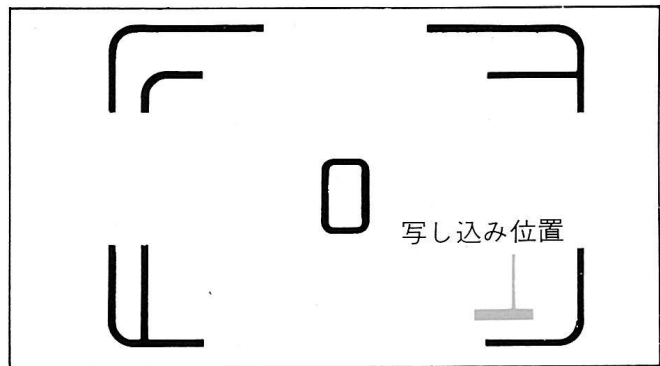
- ◆ どれかひとつの表示のデータを修正すれば、他の表示のデータも自動的に修正されます。例えば、“年”を直すとどの表示の“年”も自動的に変わります。
- ◆ 数値修正ボタン②を押すたびに数字がひとつずつ進みます。また、押し続けると数字が連続して早送りします。なお、“分”→“時”，“日”→“月”の桁上げはおこなわれません。例えば，“分”を修正していて60分を超えると“分”はまた0から1、2……と戻りますが、この場合“時”は変わりません。
- ◆ 正確な時刻を合わせたいときは、〈日・時・分〉表示の“分”を修正すれば0秒にリセットされます。
- ◆ 海外旅行の際は時差がありますので、現地の日付け・時刻に合わせてください。



表示パネル③の表示が〈OFF〉表示のとき以外はすべて写真に写し込まれます。

- ◆ デートは写真のように写し込まれます。

## 4. フィルム装てん日の確認



- ◆ 写し込み位置に明るいものがあると日付けや時刻の数字が読みにくくなります。また、カラーフィルムをご使用の場合数字はオレンジ色に写りますので、オレンジ系のものや白いものが写し込み位置にあると読みにくくなります。
- ◆ フィルムの種類によっては、写し込まれる文字が多少にじむことがあります。
- ◆ 低温下では〈日・時・分〉表示は選択しないでください。

フィルム装てん日確認ボタン④を押すとフィルムを入れた日が表示パネル③上に表示されます。

## 5. 電池・液晶について

- ◆ フィルム装てん日確認ボタンを押し続けている間は表示され、離すと元の表示に戻ります。
- ◆ フィルム装てん日は、選択した表示で日付けが表示されます。ただし〈日・時・分〉と〈OFF〉表示の場合は、〈年・月・日〉で表示されます。
- ◆ 撮影後はなるべく早くフィルムをカメラから取り出して、現像・プリントにお出しく下さい。

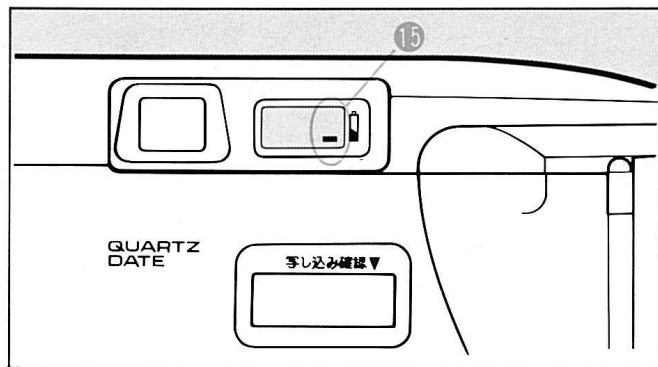
### 電池

- 電池はカメラ本体側のリチウム電池パックと共用です。
- 本体の電池パックを交換すると表示パネル③上に'85.1.1が表示されますので、日付けと時刻を修正してから使用してください。

### 液晶

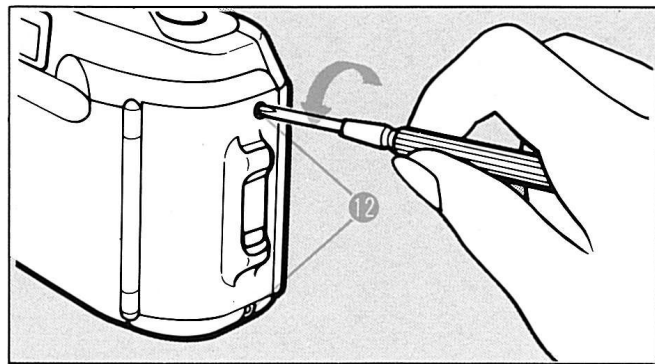
- データ表示部と写し込み部には液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程経つと表示が薄くなる場合があります。その場合は最寄りのキヤノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください（有料）。

## 電池パックの交換

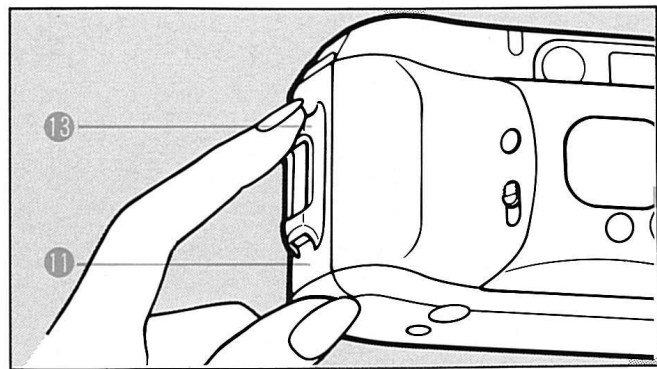


電池残量表示⑮のバーが1本しか表示されない場合は、次の手順で電池パックを交換してください。

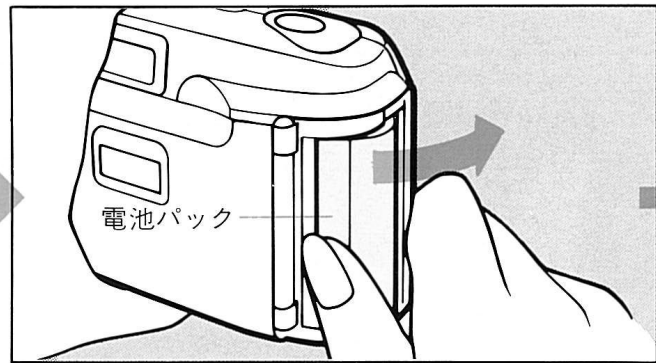
◆電池残量表示のバーが撮影の途中で1本になったときでもそのフィルム1本分は撮影できますので、最後まで撮り終えて、必ずフィルムを取り出してから電池パックを交換してください。



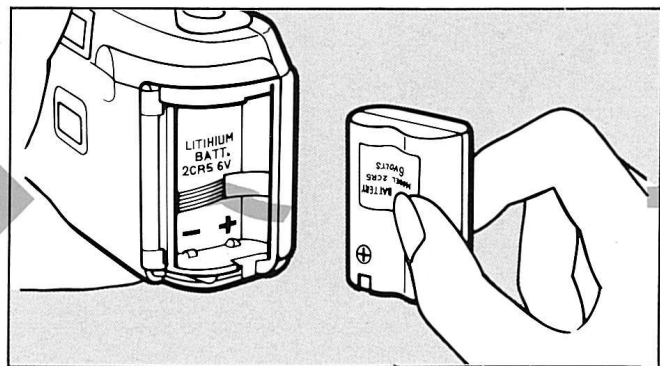
- 1) 小型のプラスドライバーで電池蓋ビス⑫(2つ)を外します。



2) 図のようにストラップ取り付け部⑫と電池蓋⑪の下の部分を持って、少し下へスライドさせてから外します。

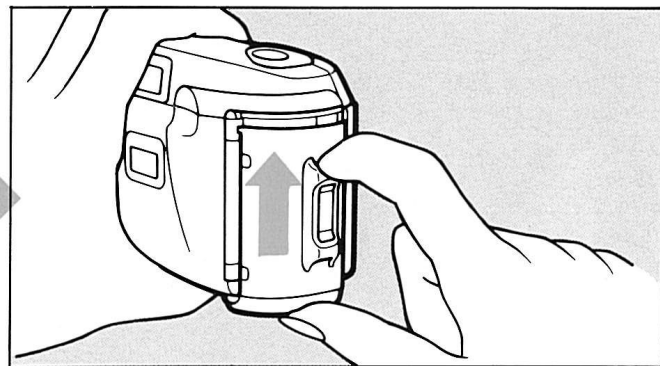


3) 電池パックの側面に親指をかけ、一旦起こしてから電池パックを引き抜きます。



4) 新品のリチウム電池パック (2 CR5 6V) を電池室の図に従って入れます。

◆新品のリチウム電池パックを入れると、電池残量表示⑮のバーが4本表示 (オートボイ3クオートデートの場合表示パネル③に'85. 1. 1'が表示) されます。もし表示されないときは電池パックを取り外し、もう一度入れ直してください。




5) 電池蓋を図のように少し手前からスライドさせて押し上げます。

6) 小型ドライバーで電池蓋ビスを締めます。

◆電池パックの交換は必ずフィルムが入っていないときに行ってください。

◆新品のリチウム電池パックと交換するとき以外は、絶対に電池パックをカメラから取り外さないでください。

# 操作中にこのようなことが起きたら

このようなとき	原因	次のようにしてください	参照ページ
1. フィルムを装てんしたらフィルムカウンターに“0”が点滅した	● フィルムが正しく装てんされていない	● 裏蓋を開け、もう一度フィルムを正しく入れ直し、フィルムカウンターに“1”が表示されたことを確認します	P.10
2. シャッターボタンを軽く押したら緑ランプが点滅した	● ピントを合わせたいものが近すぎる	● 55cm以上離れてからもう一度シャッターボタンを軽く押して、緑ランプが点滅しなければシャッターを切ります	P.13
3. シャッターが切れない	① ストロボ充電中 ② レンズカバーが閉じている ③ フィルムが正しく装てんされていない（フィルムカウンターに“0”が点滅中）	① ストロボ充電完了合図の赤マーク  が点灯するまで待って、シャッターを切ります ② レンズカバーを開け、フィルムカウンターが表示されたことを確認します ③ フィルムを正しく入れ直します	P.19 P.20 P.11 P.10
4. 撮影中に電池残量表示のバーが1本になった	● 電池の寿命が終わりに近づいている	● そのフィルム1本分は撮影できますので最後まで撮り終えて、必ずフィルムを取り出してから電池パックを交換してください	P.37

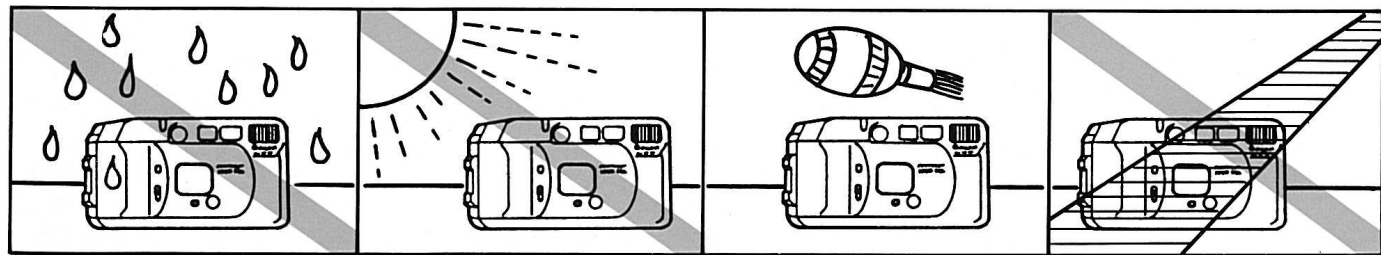


## 取り扱い上の注意

- ◆このカメラは防水構造になっていませんので、ぬらさないでください。もし水にぬらしてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたり潮風にあたったときは、乾いたきれいな布でよくふいてください。
- ◆直射日光下の車の中などは高温になり、故障の原因となることがありますので放置しないでください。
- ◆レンズやフィルム室内にごみがついているときは、市販のブロアーブラシで吹きとばすだけにしてください。レンズは有機溶剤

を含むクリーナーなどでふかないでください。なお、特に汚れのひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。

- ◆カメラを長期間使用しないときは、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ◆フィルムはカメラに入っている場合でも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。



# アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃、諸掛りはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において7年間を目安に保有しています。従って原則として期間中は修理をお受けします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましては、お買い上げの店、または当社サービス機関にお問い合わせください。

☆修理品を送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

# 主要性能一覧

型式： 35mmレンズシャッター式  
AF全自動カメラ

画面サイズ： 24×36mm

レンズ： キヤノンレンズ38mm F 2.8  
4群4枚構成  
スペクトラコーティング

レンズカバー： 開けるとリリース可能，閉じるとリリースロック

焦点調節： アクティブオートフォーカス

撮影距離： 0.55m～∞

シャッター型式： 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー： 逆ガリレオ式マーク  
ファインダー 倍率：0.45倍

ファインダー情報： オートフォーカスフレーム  
近距離補正マーク付視野枠  
測距完了ランプ  
兼近距離警告(緑色LED)  
充電完了表示マーク  
兼手振れ警告(赤色LED)

フォーカスロック： 可能

フィルム装てん： 自動（自動空送り付き）

フィルム巻き上げ： 自動

フィルム巻き戻し： フィルム終了時自動巻き戻し開始，終了後オートストップ  
途中巻き戻し可能

裏蓋開放： 裏蓋開放ノブによる

フィルムカウンター：ボディ背面LCDに  
7セグメント2桁表示  
順算式  
巻き戻しに連動して逆算  
裏蓋開放により自動復帰  
フィルム空送り不良表示あり  
フィルム在否確認：裏蓋フィルム在否確認窓  
あり  
セルフタイマー：電子式セルフタイマー  
セルフタイマーボタンにより  
作動  
約10秒後リリース  
ボディ正面赤色LED点滅表示  
測光作動範囲：EV 6～17 (ISO 100/21°  
1/8 F2.8～1/500 F16)  
フィルム感度：DX方式により自動セット  
(ISO50～1600)

内蔵ストロボ：低輝度自動発光式  
(電子制御式フラッシュオート  
機構内蔵)  
逆光時自動発光  
ストロボ連動範囲：0.55～4.5m  
(ネガカラーフィルムISO 100  
使用時)

発光間隔 (ストロボ充電時間)：約1.2秒  
ストロボ解除：ストロボ解除ボタンによる  
色温度： 昼光色相当

### 〈オートデート機構〉

液晶表示式  
クォーツデジタルオート  
カレンダー時計内蔵  
(西暦1985～2029年  
うるう年自動修正)

〈時計機構〉 常温（20℃）下で  
月差約2分以下

〈写し込みデータ〉

キャノンオリジナル表示  
5モード設定可能

〈フィルム装てん日確認〉

フィルム装てん日確認  
ボタンにより表示

電源： リチウム電池パック  
2CR5 6V 1個  
寿命：約5年（24枚撮り  
フィルム10本／年  
計50本：当社試験  
条件による）

バッテリーチェック：ボディ背面LCDに  
4セグメント4段残量表示  
ティルトつまみ：最大16.5°でボディ傾けが  
可能

大きさ： 132(幅)×71(高さ)×50(奥  
行)mm  
〈132×71×53.3mm〉

重量： 315gr.（電池含む）  
〈325gr.（電池含む）〉

- 〈 〉内はオートボーイ3クオートデー  
トのデータです。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を  
予告なく変更することがあります。

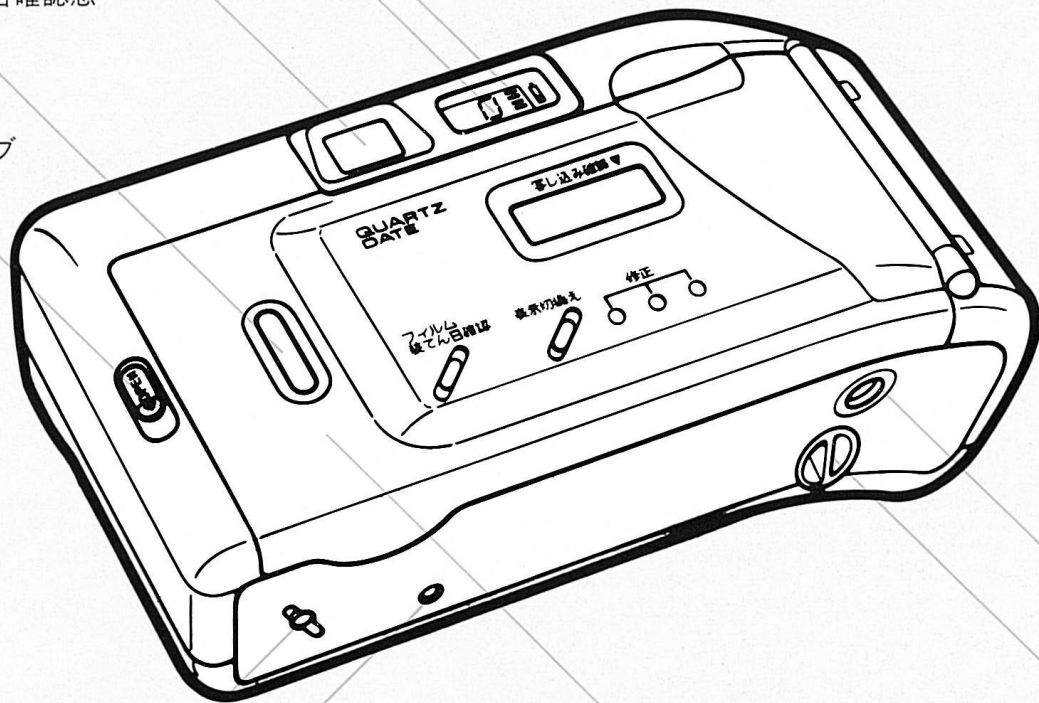
14 フィルムカウンター

15 電池残量表示

23 ファインダー

22 フィルム在否確認窓

21 裏蓋開放ノブ



20 ストロボ解除ボタン

19 フィルム途中巻き戻しボタン

18 裏蓋

16 三脚ネジ穴

17 ティルトつまみ



# Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28  
カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	幌・〒060	札幌市中央区北三条西4-1	(第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台	台・〒980	仙台市一番町1-1-30	(やまと生命仙台ビル)	☎(0222)	66-4151
郡山	山・〒963	福島県郡山市開成2-38-13		☎(0249)	23-5618
新潟	潟・〒950	新潟市東大通り1-4-1	(マルタケビル)	☎(0252)	43-2111
銀座	座・〒104	東京都中央区銀座5-9-9		☎(03)	573-7834
新宿	宿・〒163	東京都新宿区西新宿2-6-1	(住友三角ビル地下1階)	☎(03)	348-4725
横浜	浜・〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4	(安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	宮・〒330	大宮市大成町2-273		☎(0486)	66-3930
静岡	岡・〒420	静岡市鷹匠2-7-2	(静米会館)	☎(0542)	55-2241
名古屋	屋・〒450	名古屋市中村区名駅3-21-7	(三交ビル)	☎(052)	563-6822
梅田	田・〒530	大阪市北区梅田1-8-17	(第一生命ビル)	☎(06)	341-9335
京都	都・〒604	京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町435	(京都御池第一生命ビル)	☎(075)	241-0216
金沢	沢・〒920	金沢市玉鉾2-266		☎(0762)	91-1215
高松	松・〒760	高松市紺屋町9-6	(高松大同生命ビル)	☎(0878)	22-3666
岡山	山・〒700	岡山市中山下1-9-40	(新岡山ビル)	☎(0862)	22-8228
広島	島・〒730	広島市中区小町2-30	(第二有楽ビル)	☎(082)	245-7791
福岡	岡・〒812	福岡市博多区美野島1-2-1	(キヤノン販売福岡ビル)	☎(092)	411-4173
沖縄	縄・〒902	那覇市安里102	(日本生命安里ビル)	☎(0988)	67-2106

◎営業所

千葉	葉・〒280	千葉市末広2-13-2		☎(0472)	61-5121
大分	分・〒870	大分市城崎町1-3-31	(富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117

◎サービスセンター

東京	京・〒108	東京都港区港南2-13-29		☎(03)	450-2731
大阪	阪・〒540	大阪市東区森の宮中央2-10-9		☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

PUB.C-IJ-131B  
0586B50

© CANON INC. 1986  
CY8-6041-001

PRINTED IN JAPAN